とぅもろう便り

No. 3
2018年７月発行
特定非営利活動法人　とぅもろう

歩みをとめずに

特定非営利活動法人とぅもろうは 2014 年 8 月に東京都から認証を受けました。その後、設計事務所探しから始まり、資金集め、建設工事の入札、事業計画、東京都・練馬区からの施設整備補助金を受けるための申請等々、私たちにとっては全てが初めての経験でした。決して順調とは行かない状況を乗り越えて、2016 年４月にグループホームとぅもろうを開所いたしました。

理事長の私は、社会での経験を活かして法人運営等のアドバイスをしています。グループホームの実際の運営や福祉については、現在職員及び理事となっている母親たちが担っております。

「親が作ったグループホーム」として、現在も見学される方が相次いでおります。その時に「仲良しグループでは上手くゆかないと耳にしますが、どのように活動しているのですか？」という質問をされることがあります。

前身である「とぅもろうきっず」は、コンサートを開催したり、旅行したりと「障がいがあっても臆すること無く楽しもう。」と活発に活動してきました。なんと、23 年近く続いております。その活動の中で培った事は、それぞれの得意・不得意を認め、出来ることを無理なく、時には厳しく、しかし互いを尊重し助け合う心が重要であるという事だと思います。

2017 年度から「障害者グループホーム医療的ケア実施体制整備補助金」の交付により、喀痰吸引等の医療的ケアを実施する看護師や医療的ケア対応資格を持つ支援員の人件費の一部補助を受けることができるようになりました。大変感謝しております。しかし、ご入居者全員が重度の障がいをお持ちである当グループホームには、この補助金では対象外の浣腸及び摘便を行う方、病気により看護師の対応が必要な方も多数いらっしゃいます。ご入居の皆さまが安定、安心した生活を送れますよう、対象となる医療的ケアの範囲拡大について地道に要請してゆく必要性を実感しております。

最後になりましたが、当法人は補助金や助成金、寄付金や会費等のご協力が無ければ運営が成り立たない状況です。ご協力いただきました皆さまに厚く御礼申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

浅石道夫

今年もホームにミニひまわりが咲きましたケロ

屋内になっちゃったけど大盛り上がりの BBQ 大会

2017 年 11 月 23 日㊗グループホーム初の野外での BBQ をご家族、ご入居者、職員、ボランティアさんの参加を募ってみんなでやろう！と企画しましたが、あいにくの雨模様のためホーム内で行うことになりました。３階は焼肉や豚汁などを作りレストラン風に、２階は、風船をたくさん膨らませてのフリースペースに、１階は、なんと飛び入り参加ありの大演芸場、紙芝居、落語、歌に、ダンスと大盛り上がり！
また、田柄福祉園の職員さんにより、ギターの生演奏に歌、そして、ウォーリーを探せ！と題して、ご入居者全員がウォーリーに!!
満面の笑顔で、楽しい時間を過ごすことができました。

BBQ は、残念でしたが、またいつか青空の下で開催したいと思います。
ご協力いただいた田柄福祉園の職員の皆さま、ボランティアに駆けつけてくれた皆さま、本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。

飛田　悦子

きらり（とぅもろう１階フロア）エピソード

歌が大好きな女性フロアにはテレビの YouTube 機能で、職員も懐かしいピンクレディーやキャンディーズに始まり、AKB48 など様々な音楽がいつも流れており、それに合わせてみんなで歌ったり踊ったりしています。ご入居者の中にはマイクを持って一緒に歌ったり、大笑いをして楽しんだり、職員に踊りの指導までする方まであり、とても活気に満ちています、特に施設長がいる時にはそれはそれは賑やかになります（笑）、是非一度観にいらしてください。

高橋　明子

ふわり（とぅもろう２階フロア）エピソード

三度の飯よりテレビが好き！食事もとらずにかじりつき、数日後の番組表のチェックをしているＫ．Ｎさんは、リビングで YouTube を観る為に『リモコン貸して～』と満面の笑みでウィンク(^_-)して職員に訴える。リモコンを渡すと「くのいち」や「時代劇」を熱心に検索される。…ところがそこに Ｔ．Ｎさんが寄ってきてリモコンを奪ってチャンネルをいろいろ替えて…挙句…なんとテレビを消してしまう。職員が再びＫ．Ｎさんにリモコンを渡すが、Ｔ．Ｎさんに奪われてしまう～の繰り返しである。それをＹ．Ｋさんが見て大笑いして喜んでいる（我関せずの姿勢である）。そこに居室でゲームをしていたＲ．Ａさんがやって来て、テレビ争いには目もくれず職員２人に交互に抱きつき、楽しそうに笑いながら自慢のアゴで甘えてスリスリという光景が、、、

皆さんそれぞれに共同生活を楽しまれています。

菊池　正明

感染予防と救命救急の研修会

重度の障がい者が暮らすグループホームとして、常に注意が必要な感染症の予防対策と対処法についての研修を行いました。

また、非常事態に必要な心肺蘇生や AED の使用方法について実技も含めて学び、参加した職員全員がメディック・ファーストエイドの認定証を取得いたしました。

介護倫理と介護技法の研修会

職員が心身ともに健康で、ご入居者の幸せな生活をサポートすることができるように、宗石光英先生を講師として招き、介護倫理の理解とボディメカニクスを活用した介護技法を身につける研修会を年間を通して実施しております。

今後も研修活動には積極的に取り組み、日々の支援に活かしてまいります。

伊原　彰人

azbil みつばち倶楽部様より支援金を頂き、研修会を開催することができました

指導看護師として関わった２年間での成果と今後の課題

グループホームを作るので助けてください！それがすべての始まりでした。そこから縁があって、「とぅもろう」と関わり、全てがゼロから試行錯誤の連続でした。２年間の中で、私はなかなか伺えず、久しぶりに伺うと前回とは異なるということが本当に多くありましたが考えてみれば、グループホームは生活をする場であり、病院のように医療現場の中の看護が中心ではありません。

看護職は、どうしても医療現場での療養生活をイメージしてしまうことが多々あります。しかしここは生活が中心でその生活を楽しく支える場です。だからこそ今ある環境で、ご本人も、ご家族もそして支援員、看護者すべての人が無理なく、快適に日々が送れるようにしていく必要があります。そのために、日々の調整、連絡や、話し合いをすることでご本人にとって一番良いことを求めた２年間だったのかなと思っています。

生活する上で今後も調整や変化への対応が求められることがあると思います。ご本人の心身の状態もご家族の状態もそして社会も長い年月がたてば日々変化していくことと思います。

医療的ケアができるグループホームとして歩み出した以上、この変化へも対応してくことが求められると思います。これからは長期間を見据えた対策について柔軟性をもち連携協働して考え、更に安心して楽しく生活ができる場になるように努力していく必要があるのだと思います。

宍戸　路佳

～職員募集中～

私たちとともにご入居者の笑顔を支え、ともに楽しさと喜びを分かち合う仲間を募集しています

～賛助会員募集・ご寄付のお願い～

私たちの活動は皆さまのお力添えによって支えられています。

医療的ケアに対応するため、夜間も含めての看護師体制を維持してゆくには、私たちの力だけでは不十分です。当法人の目的にご賛同いただき、活動を支援してくださる賛助会員及びご寄付を募集しております。是非温かいご支援をお願い申し上げます。

お申込み：ホームページから書式をダウンロードし、メールまたはFAXにて事務局までお送りください。

賛助会員　入会金 3,000 円
年会費 2,000 円

～助成金・支援金ありがとうございました～

・**愛恵福祉支援財団**様より、備品購入のための助成金を頂きました（2015 年、2017 年）

・**社会福祉法人東京都募金会**様より、備品購入のための助成金を頂きました（2016 年）

・**azbil みつばち倶楽部**様より、研修活動のための支援金を頂きました（2017 年、2018 年）

～ご寄付ありがとうございました～

開設時からこれまで、多くの皆さまからご寄付を頂きました

大切に使わせていただきます。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

発行：特定非営利活動法人とぅもろう
〒176-0021
東京都練馬区貫井３-４５-１２
TEL:03-5936-6100　FAX:03-5936-6101
ホームページ　（NPO 法人とぅもろうで検索！）
http://www.npo-tomorrow.com/